

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2011-40791(P2011-40791A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-260444(P2010-260444)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2010.01)

H 01 L 33/32 (2010.01)

【F I】

H 01 L 33/00 J

H 01 L 33/00 1 8 6

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アレイ状に配置され且つ直列に連結された複数個の発光セルを有する発光セルブロックと、

直列に接続された複数のダイオードをそれぞれ有する第1から第4ダイオードブロックを有するブリッジ整流回路とを備え、

前記第1ダイオードブロックの一端のダイオードと前記第3ダイオードブロックの一端のダイオードと前記発光セルブロックの一端の発光セルとが接続され、

前記第2ダイオードブロックの一端のダイオードと前記第4ダイオードブロックの一端のダイオードと前記発光セルブロックの他端の発光セルとが接続され、

前記第1ダイオードブロックの他端のダイオード及び前記第2ダイオードブロックの他端と、前記第3ダイオードブロックの他端のダイオード及び前記第4ダイオードブロックの他端と、の間に交流電源の順方向電圧が印加されると、前記第2ダイオードと前記第3ダイオードとがオン状態となり、前記交流電源の逆方向電圧が印加されると、前記第1ダイオードと前記第4ダイオードとがオン状態となり、

前記第1から前記第4ダイオードブロックは前記発光セルブロックに隣接し前記発光セルブロックを取り囲んで配置されていることを特徴とする発光素子。

【請求項2】

前記複数のダイオードの個数は、前記発光セルブロック内の前記発光セルの個数の100～200%であることを特徴とする請求項1に記載の発光素子。

【請求項3】

前記複数のダイオードの個数は、前記発光セルブロック内の前記発光セルの個数の100～130%であることを特徴とする請求項1に記載の発光素子。

【請求項4】

前記複数のダイオードの大きさは、前記発光セルの大きさの80%以下であることを特徴とする請求項1に記載の発光素子。

【請求項5】

前記発光セルブロック及びブリッジ整流回路は、同一の基板上に形成されることを特徴と

する請求項 1 に記載の発光素子。

【請求項 6】

前記複数のダイオードの少なくとも 1 つは発光ダイオードであることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項 7】

前記発光素子は、全体形状が四角形であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項 8】

前記基板は 4 つの辺を有し、

前記第 1 から第 4 ダイオードブロックのそれぞれは、前記基板の有する隣接する 2 つの辺に沿って配置されていることを特徴とする請求項 5 に記載の発光素子。